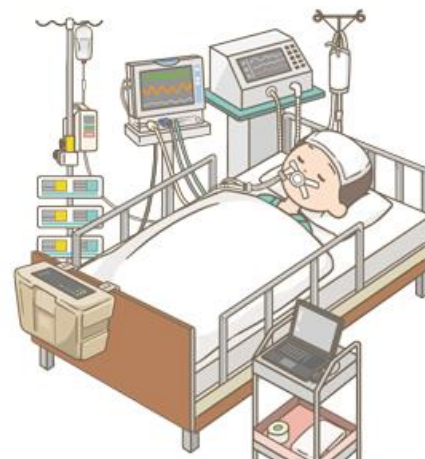




## コロナ禍の ICU ( Intensive Care Unit : 集中治療室 ) を取り巻く諸問題と将来

特定集中治療部 蒲原 英伸

ICU は重症患者を一括して管理することにより、診療の質を向上させ患者の救命から社会復帰を目的として世界的に広く認識された病棟です。日本では患者 2 名を 24 時間の手厚いケアを看護師 1 名で行い、また専従医師が常時張り付いて診療を行っています。院内外からの急性の重症患者が入室し、救急科と特定集中治療部が患者を振り分け、専門診療科と共に診療を行います。また高度侵襲を伴う外科手術後の予定患者も ICU に入室の上、特定集中治療部が積極的に診療介入を行なっています。コロナ禍で一般の ICU 診療は制限されましたが、2020 年 8 月コロナ専用陰圧完備病棟を設置、これまでの一般診療に戻りつつあります。



今回改めて、浮き彫りとなった日本における集中治療の課題は以下の 3 点です。

- ①床数が不足(欧米の半分以下)。
- ②集中治療専門医及び専従医が不足(欧米の 1/4 以下)。
- ③集中治療専従看護師が不足。

このようなハコ・ヒト問題が将来解決されることを信じ、日々重症患者に向き合い精進しております。

マスク着用にご協力ください



# 謹賀新年

